



広場

市長随筆



夢ある一大プロジェクト

1月31日、牛深沖で取り組まれているクロマガゴ養殖のいけすを視察させていただきました。生育状況などを見てきました。45〜50cmの幼魚が縦横に泳ぎ回ったり、威勢よくえさを食べたりする姿を目の当たりにし、停滞する天草の水産業に活力を与えてくれる、夢ある一大プロジェクトだと確信を得てきたところです。

この事業は、市内の水産業者が、世界で初めてクロマガゴの完全養殖に成功した近畿大学水産研究所と共同で手がけているもので、平成22年の年明けにも出荷を開始し、3年後には年間7,000匹を出荷し、10億円の売り上げを

見込んでいるところです。一方、別の業者の手で、国内最大級の養殖施設を整備する計画が新和町沖で進められており、これらの養殖場が完成し、出荷が始まると、天草は日本一のクロマガゴの生産基地となります。ひいては、40%にも満たない日本の食糧自給率の向上や、すしが好まれている米国などへの輸出が伸びると、外貨獲得にもつながります。また、えづけの光景などは、天草の宝の一つとして、観光資源にもなりうると思えながら、海の黒ダイヤを眺めてきました。

天草市長 安田公寛

宝島の健康 よろず屋



坂本 ツネミ さん (五和町御領・85歳)

—— 毎日の楽しみは？  
読書をすることです。昔から本を読むのが好きで、今までにどれだけ読んだかわかりません。あと、景色を眺めながら約2km歩くことも楽しみの一つですね。

—— 健康の秘訣は？  
よく体を動かすことですね。毎日、独自に考案した体操をしたり、週に1回、グラウンドゴルフをしたりしています。また、20年くらい前から体を塩で洗っています。これを始めてから、かぜをひかなくなりました。

善意の寄付

- 【5月7日〜2月2日受付分】  
ありがとうございました
- (敬称略)
- 天草市チャリティーゴルフ大会実行委員会…市福祉基金へ
  - 錦戸企業グループ(三和コンクリート工業(株)・天草石油(株)・三和電工設備(株))…図書購入費として
  - 横山隆弘(下浦町)…市福祉基金へ
  - 横山スエカ(志柿町)…子どもたちの読書振興のために
  - (有)ミカンセイ…本渡老人福祉センターの充実のために
  - (株)天草自動車学園・田中正友…子どもの交通安全対策のために
  - (社)天草法人会女性部会…中学校の学用品の充実のために
  - 本渡商工会議所女性会…市福祉基金、市奨学金貸付基金へ



自然が大好き 栖本カッパ隊

栖本中学校

栖本中学校(山口英美和校長・全校生徒92人)では、河内川の清掃活動を行う「カッパ活動」を栖本小学校と合同で実施しています。この取り組みは平成14年から毎年続けているもので、年々ゴミの量も減ってきました。校内では、環境委員会が中心となって、環境ISO(環境国際標準化機構)活動として水や紙の節約などに取り組んでいます。このことが評価され、昨年11月に行われた「第1回くまもと・みんなの川と海づくり県民大会」で県民運動賞を受賞。また、毎年行われる学校版環境ISOコンクール中学校の部でも4年連続で賞を受賞しています。今後も積極的に環境美化に取り組んでいきます。

ぼくのわたしの校舎自慢

地域へ広がる 宮っ子パワー

宮地岳小学校

天草市の中央部に位置する宮地岳小学校(西島英孝校長・全校児童22人)では、「かなた(かしこく・なかよく・たくましく)班」でのたて割活動ががんばっています。飼育や栽培、清掃活動、校内行事に至るまで、1年生から6年生まで一人ひとりが大きな役割を果たしています。

また、年間30回以上実施される宮地岳わんぱく事業では、本の読み聞かせや田植え、通学合宿、炭焼き、茶道教室などが行われ、地域の多くの方々のご協力のもと、生き生きとした子どもたちの姿が見られます。特に、9月の通学合宿では、知恵と忍耐と協力を学ぶことができました。

今日も地域で育つ「宮っ子」の元気な声が響いています。



息を合わせて、全校児童みんなでジャンプ!

2のゆびと〜まれ



子どもたちにさまざまな感動体験を!

さくら保育園

本渡町本戸馬場のさくら保育園(安田康子園長・全園児132人)では、遊びやお寺での礼拝、田植えや稲刈り、コンサート鑑賞などのさまざまな体験活動を通して、子どもたちの感性をはぐくんでいます。この日は、薄い木の板を自由に組み合わせて造形物をつくる『KAPLA(小人の板)』と呼ばれる遊びを行いました。子どもたちは自由な発想で一心に遊びと向き合い、集中力や創造力を高めています。幼いころからの体験の積み重ねを通して、健やかでたくましい子どもに育ててほしいと願っています。

熊本県福岡事務所発

ほっと情報便



熊本県福岡事務所 ☎092-737-1313

久しぶりに天草で、恩師の先生や同級生と食事をする機会がありました。天草から見た福岡、「福岡から見た天草」の話題に話がおよび、「天草の海岸線は自然が残っていてすばらしい。これを生

かすべきだ」などの意見がありました。天草地域の宝(資源)を私たち一人ひとりが見つけ直し、掘り起こし、磨きあげることが重要であると再認識しました。

また先日、九州新幹線全線開通をにらみ、広島市内で熊本の観光を売り込むための「熊本観光マーケット」を開催しました。天草宝島観光協会の職員の方に天草の春のイベントを紹介していただき、天草をPRする良い機会にはなりましたが、天草の名前しか知らない人が多く、これか

らは熊本県内各地との地域連携や長崎県などの広域連携を図り、天草をPRする必要があります。この2年間、福岡の情報や福岡から見た天草の情報をお届けいたしました。天草には自然、物、文化など自慢できる本物の素材がたくさんあります。もっと本物にこだわりたい。天草でしかできない、「天草でしか味わえないもの」を探し、磨くことで本物の宝島になると思っています。

▼報告者・木村英樹  
(市職員・県福岡事務所派遣)